

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：都市計画課

施策名	33 公共交通
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・公共交通機関を利用することで、市内外へ快適に移動できています。

③ 施策評価指標

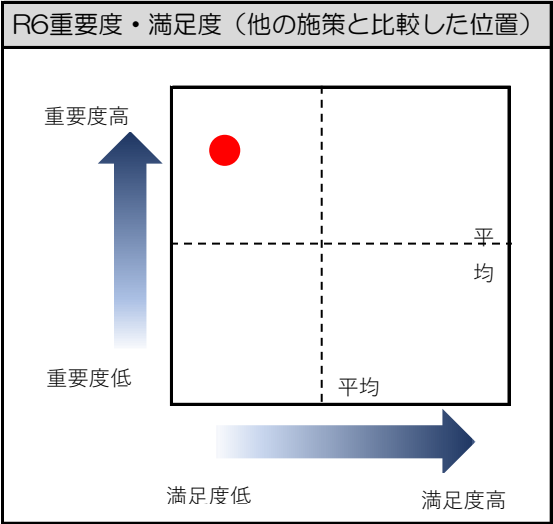
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
市街地における一日あたりのバス乗降人数	人／日	685	1300以上
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1153	1130	
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
通学定期券助成人数（高速名古屋線）	人	75	80
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	78	91	

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和6年度
336

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和5年度		令和6年度
70.9		68.7

※増減（➡）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

公共交通に対する住民満足度は低く、移動手段に不安を感じている市民は、高齢者を中心に多いと言えますが、バス・鉄道の維持に4億7千万円もの費用を負担しており、さらなる増額は難しい状況に変わりはありません。引き続き路線網の最適化を図るとともに、自主運行バスからフルデマンド型乗合タクシーへの切り替え等、抜本的な公共交通の再編を検討する時期に来了います。また、長良川鉄道については、路線維持・廃止を含めた今後の運営の在り方を沿線市町で協議し、方針を決める必要があります。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：デマンドバス運行事業

R6決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
31,576	デマンドバス運行委託	➡	➡	利用者や地域特性、現在の運行状況を分析し、費用対効果を含めた運行の最適化を図ります。	○

事務事業②：自主運行バス運行事業

R6決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
228,898	自主運行バス運行補助	➡	➡	主に学生や高齢者の生活交通手段を確保するため、市の公共交通全体の路線再編を検討し、利便性の高いバス交通を確保していきます。	○

事務事業③：地域内バス運行事業

R6決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
102,551	地域内バス運行補助	→	→	高齢化と過疎化の激しい地区を運行する地域内バスは、重要な移動手段ですが、運営を担う人材の確保が難しく、人件費や燃料費の高騰で事業費も増加傾向です。地域の状況を考慮しつつ運行方法や補助金算定基準の見直しを行う必要があります。	○

事務事業④：公共交通利用促進事業

R6決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
7,149				市民の通勤・通学動態の把握、高齢者の免許返納等の社会的な背景を考慮し、補助制度の設計を見直しつつ運用していきます。	

事務事業⑤：鉄道交通事業

R6決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
92,589				安全安心な運行、老朽化対策など多額の運行経費を負担し存続させています。路線維持・廃止を含めた長良川鉄道の今後の運営の在り方を沿線市町で協議し、方針を決める必要があります。	